2022 年度

千葉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修

必修基礎コース

受講者募集!

あなたも失語のある人と社会をつなぐ
かけはしになりませんか

失語症は

脳卒中などの後遺症で起こる言葉の障害です。失語症になると、話すことばかりでなく、聞いて理解することや文字の読み書きも不自由になります。意思の疎通が不自由なために、周囲の人の誤解を受けやすく、社会で孤立しがちです。

失語症者向け意思疎通支援者は

失語症の症状と日常生活上の困難さを理解し、適切な会話技術を用いて、失語のある人のコミュニケーションを支援します。この研修の目的は、失語のある人との 1 対 1 の会話が行えるようになり、日常生活上の外出場面において意思疎通の支援ができるようになることです。

講 座 **全 13 回（2022 年 9 月～11 月）40 時間**

講義 12 時間と実習の一部はオンラインで実施します。

実習会場 **船橋市西部公民館 他**

受講料 **無料**

定 員 **30 名程度**（申し込み多数の場合は審査の上結果をご連絡します。）

応募方法 千葉県言語聴覚士会 HP の申込みフォーム（右記 QR コード）より
応募期間は 7 月 25 日～8 月 20 日です。

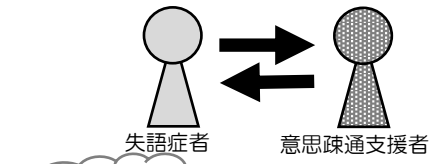
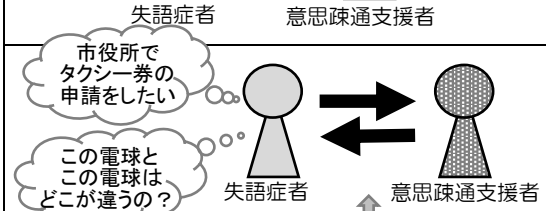
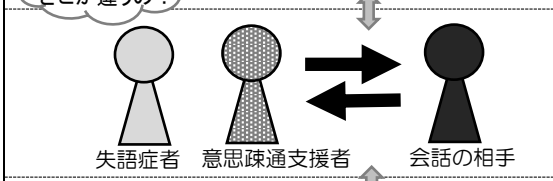
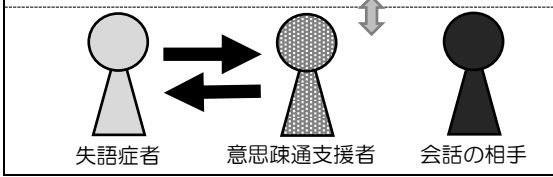
お問合せ先　一般社団法人　千葉県言語聴覚士会

https://chiba-st.com/

千葉県委託事業

2022 年度 千葉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修 必修基礎コース

《 失語のある人への意思疎通支援の例 》

	会話の支援 意思疎通支援者は、適切な会話技術を用いて、失語のある人の思いを引き出し、失語のある人に情報をわかりやすく伝えます。意思疎通支援者は、失語のある人を人として尊重しながら、コミュニケーションの支援を行います。
	外出同行支援、会話の相手への橋渡し 意思疎通支援者は、会話技術を使って、失語のある人から希望や疑問など、伝えたいことをくみ取ります。
	意思疎通支援者は、失語のある人に代わり、失語のある人の伝えたいことを会話の相手に伝えます。
	意思疎通支援者は、会話の相手のことばの内容を、会話技術を使って、失語のある人にわかりやすく伝えます。

《 どんなところで支援が必要か 》

失語症友の会や趣味の集まりなどでの会話支援、会議や講演会での理解や発言の支援、買物や娯楽施設の利用支援、交通機関の利用支援、銀行・役所など公共施設の利用支援、病院受診に伴う医療職との会話支援など

《 意思疎通支援者の会話技術 》

◉ゆっくり簡潔に話します。　◉失語のある人が答えやすいように質問の仕方を工夫します。
◉要点を文字や絵で書いて伝えます。　◉失語のある人の理解や意思を丁寧に確認しながら会話をします。

《 講座日程と内容 》

9/4(日)	Zoom オンライン	開講式、失語症概論
9/11(日)	Zoom オンライン	失語症のある人の日常生活とニーズ、意思疎通支援者とは何か コミュニケーション支援実習
9/18,25,10/2,9(日)	Zoom オンライン	コミュニケーション支援技法、コミュニケーション支援実習
10/23(日)	船橋市西部公民館	身体介助の方法、身体介助実習
10/30(日)	Zoom オンライン	外出同行支援、コミュニケーション支援実習、外出同行支援実習
11/ 6 (日)	船橋市西部公民館	外出同行支援実習
11/13(日)	Zoom オンライン	意思疎通支援者の心構えと倫理、コミュニケーション支援実習
11/20(日)	船橋市西部公民館	外出同行支援実習、コミュニケーション支援実習
11/27(日)	Zoom オンライン	派遣事業と意思疎通支援者の業務、修了式

この他に、コミュニケーション支援実習として失語症者の活動先への参加が 10～11 月中に 1 回あります。

研修の詳細は、以下のホームページの実施要項をご覧ください。

お問合せ先　千葉県言語聴覚士会　https://chiba-st.com/